

福島大学

▼ 熊本地震に係る支援活動の概要

1. 教職員の派遣

- ・東日本大震災からの復旧・復興による支援知を活かし、被災者・被災地域を支援するため、学長をチームリーダーとする「福島大学熊本地震対策チーム」を設置(4月28日役員会決定)し、8月31日までに延べ6回の支援活動を行った。
- ・チーム→(<http://www.fukushima-u.ac.jp/guidance/top/img/kumamoto160428.pdf>)
- ・派遣 →(<http://www.fukushima-u.ac.jp/guidance/top/sinsai-kumamoto-2.html>)

派遣先	派遣期間	業務	派遣人数
熊本大学、熊本学園大学など	4月22日～4月24日	被災地や避難所を視察し現地の状況を把握したほか、熊本学園大学には福島大学の危機管理マニュアルを提供した。	教職員3名
熊本学園大学など	4月29日～5月6日	熊本学園大学で避難所運営の支援を行ったほか、同大学の学生と宇城市で福祉避難所の設営作業等を実施した。	教職員2名
熊本市内など	5月1日～5月3日	被災地の子どもに対する支援のあり方を探るため、各教育委員会を訪問し情報収集を行った。	教職員2名
益城町など	5月12日～5月14日	避難所運営等について関係機関に知見を提供したほか、避難所の環境改善にむけ熊本学園大学の学生とボランティアを行った。	教職員3名
熊本市内など	5月31日～6月3日	足湯ボランティアを実施したほか、熊本大学・熊本学園大学の学生にボランティアに対する指導等を行った。	教職員3名
熊本学園大学など	7月2日～7月7日	スクールソーシャルワーカー等の教育関係者を対象とした講演を行ったほか、学生ボランティア組織の立ち上げについての助言・指導等を行った。	教職員3名

2. 物資支援

提供先	支援内容
長崎大学	・アルファ米カレー400食 ・アルファ米わかめごはん400食 ・乾パン240食 (以上、すべて4月26日)

※支援内容の調整を行っている九州大学からの要請により、長崎大学へ送付

3. 義援金の募集

寄附先	金額	団体
日本赤十字社	150,000円	学内教職員
熊本大学	150,000円	学内教職員
熊本学園大学	150,000円	学内教職員
益城町役場	150,000円	学内教職員



熊本学園大学内に設置した
福島大学地震対策チームのブース

4. 報告会

- ・6月15日、うつくしまふくしま未来支援センターにおいて、「福島大学熊本地震対策チーム」による報告会を行い、一般の方、報道機関、教職員・学生など約50名が参加した。
(<http://www.fukushima-u.ac.jp/guidance/top/sinsai-kumamoto-3.html>)

5. その他

- ・教員に対して、ボランティアに参加した学生や保護者が被災した学生が講義を欠席した場合の配慮を周知した。